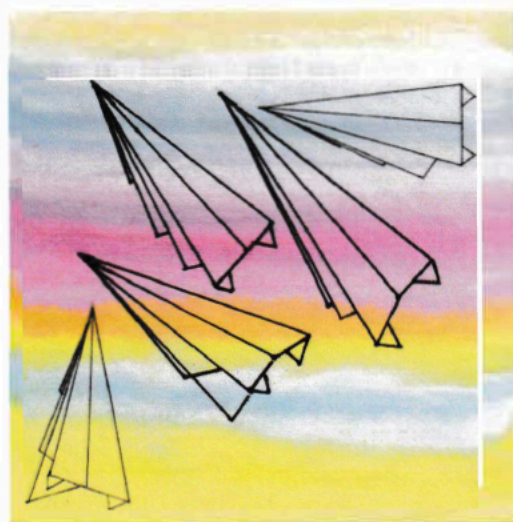


## 謝辞

わたしの紙ひこうき

誰もが、  
いちどは折ったことのある紙ひこうき。  
よく飛ぶように、とあって折り、  
それを手から放つとき、  
わたしたちは、  
飛んで飛んで…と思い、願う。

この冊子にまとめていただいた  
一言一言、一つ一つの文章、  
これは、  
受けとる相手へ、  
飛んで飛んで…届くように思い、願って折った紙ひこうきのようなもの。



人も紙ひこうきも、よく似ていますね。  
もろくて、とても弱い…。  
自分が、  
いま、  
たまたま、  
仮に置かれている場所や評価や体力とは関係なく、  
本質は紙ひこうきのように、  
とてももろく弱いのです。  
このことがわかったとき、  
わたしたちは、  
「おなじように弱い相手」へ目を向けこころを向けることができる。  
「人とかかわる」とは、  
「よく生きる」とは、  
このように目を向けこころを向けて、はじめてできることなのです。

この学校で巡り会った  
生徒の皆さん一人一人が、  
困難の多い「人生という航路」を、  
なんとか…無事に飛んでいけるよう願いつづけています。

2023年3月2日  
神戸修道院 入江純子